

I. 気象概況 札幌管区气象台発表 北海道地方気象速報

－低気圧の影響で全道的に多雨、中旬は記録的多雨－

4月は、天気は数日の周期で変わった。上旬は、高気圧の張り出しの中となつて晴れた日が多かった。中旬は、低気圧や気圧の谷の影響で雨または雪の降った日が多く、特に17日から18日にかけては、前線を伴った低気圧の影響で太平洋側では大雨となつた所があった。下旬は、高気圧の張り出しの中となり晴れた日もあったが、寒気の影響でオホーツク海側を中心に雪の降った所もあった。また、30日は前線を伴った低気圧の影響でオホーツク海側を中心に大雨となつた所があった。気温は、上旬と中旬は平年より高く、月平均気温も高かった。降水量は、中旬は平年よりかなり多く、下旬は多く、月降水量はかなり多かつた。日照時間は、上旬は平年よりかなり多く、下旬は多く、月間日照時間は多かつた。降雪量は、中旬はかなり少なく、月降雪量もかなり少なかつた。なお、1961年の統計開始以降、中旬の日本海側、太平洋側、北海道地方、下旬のオホーツク海側の降水量は最も多かつた。

上旬：1～2日は高気圧に覆われて概ね晴れたが、気圧の谷の通過により雪または雨の降った所もあった。3日は寒冷前線の接近により昼過ぎから広い範囲で雨が降った。4日は前線の影響で雨または雪の降った所が多かつたが、日本海側北部では晴れた所もあった。5日ははじめ気圧の谷の影響で雪または雨の降った所があったが、次第に高気圧の張り出しの中となつて広い範囲で晴れた。6～7日は高気圧に覆われて概ね晴れたが、7日夕方から気圧の谷の通過により日本海側を中心に雨または雪の降った所があった。8日は低気圧の影響で広い範囲で雪が降ったが、太平洋側を中心に晴れた所もあった。9日は気圧の谷の影響で雪の降った所が多かつたが、夜には高気圧の張り出しの中となつて広い範囲で晴れた。10日は高気圧に覆われて全道的に晴れた。

中旬：11～12日は高気圧に覆われて全道的に晴れた。13日は前線を伴った低気圧の影響で広い範囲で雨が降った。14日は気圧の谷の影響で日本海側や太平洋側東部で雨または雪の降った所があった。15日は高気圧の張り出しの中で晴れた所が多かつたが、気圧の谷の影響により雪または雨の降った所もあった。16日は高気圧の張り出しの中で概ね晴れたが、夜には低気圧の接近により日本海側南部や太平洋側で雨の降った所があった。17～18日は前線を伴った低気圧の影響で全道的に雨が降り、太平洋側では大雨となつた所があった。日降水量は18日に釧路市音別町二俣で109.0mmなど。19日は低気圧を含む気圧の谷の影響で広い範囲で雨または雪が降ったが、晴れた所もあった。20日は高気圧の張り出しの中となり概ね晴れたが、気圧の谷の通過により雨または雪の降った所もあった。

下旬：21日は高気圧の張り出しの中で概ね晴れたが、オホーツク海側では低気圧の影響で雪または雨が降った。22日ははじめ低気圧の影響で雪の降った所があったが、次第に高気圧の張り出しの中となつて広い範囲で晴れた。23日は高気圧の張り出しの中で全道的に晴れた。24日ははじめ高気圧の張り出しの中で晴れたが、気圧の谷の接近により昼過ぎから日本海側北部とオホーツク海側を中心に雨または雪の降った所があった。25日は気圧の谷の影響で雪または雨の降った所があった。26～27日は高気圧の張り出しの中で広い範囲で晴れたが、26日は寒気の影響で雪または雨の降った所があった。28日ははじめ高気圧の張り出しの中で太平洋側東部では晴れたが、気圧の谷の接近により日本海側北部を中心に雨または雪の降った所があった。29日ははじめ高気圧の張り出しの中で日本海側北部とオホーツク海側では晴れたが、前線の接近により夜には太平洋側を中心に雨が降った。30日は前線を伴った低気圧の影響で全道的に雨または雪が降り、オホーツク海側や太平洋側東部では大雨となつた所があった。日降水量は佐呂間で89.5mmなど。

気候表

	気温偏差℃	階級	降水比%	階級	日照比%	階級
北海道22地点平均	+0.9	高	176	か多	115	多
日本海側10地点平均	+0.7	高	157	か多	116	多
オホーツク海側4地点平均	+1.4	高	226	か多	106	並
太平洋側8地点平均	+1.0	高	176	か多	119	か多

注) 階級分布図の気温・降水量・日照時間は、概ね「高(多)」、「並」、「低(少)」の3段階で表示します。各階級の幅は、平年値の作成期間(1981～2010の30年間)における各階級の出現率が1:1:1となるように決めてあります。

なお、平年値作成期間内の上位、下位10%の範囲に入る場合は「か高(多)」、「か低(少)」(か→かなり)で表します。

II. 病害虫発生概況

A. 秋まき小麦

1. 雪腐病 発生量 やや少

予察ほにおける根雪始は、長沼町、芽室町、訓子府町全ての地点で平年より遅かった。融雪期は、長沼町および訓子府町では平年より早く、芽室町では平年よりやや早かった。積雪期間は全ての地点で平年より短かった。

主力品種「きたほなみ」における雪腐病の発病度は、長沼町では平年よりやや低く、訓子府町では平年並、芽室町では平年よりやや高かった。病原菌種別で見ると、長沼町では紅色雪腐病、芽室町および訓子府町では雪腐大粒菌核病が主体だった。

一般ほにおける発生面積率、被害面積率はともに平年より低かった。病原菌種別では、雪腐褐色小粒菌核病、紅色雪腐病の割合が高い地域が多かったものの、空知、上川、留萌地方では褐色雪腐病の割合も高かった。十勝地方では一部の地域でスッポヌケ症の発生が認められた。

予察ほにおける積雪状況

地点	根雪始		融雪期		積雪期間(日)	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年
長沼町	12月14日	12月8日	3月23日	3月30日	99	114
芽室町	1月7日	12月1日	3月31日	4月4日	83	125
訓子府町	12月27日	12月8日	3月24日	3月31日	88	114

予察ほにおける発生状況

地点	品種名	発病度		平年数
		本年	平年	
長沼町	チホクコムギ	26.5	18.8	10
	きたほなみ	6.8	10.4	10
芽室町	チホクコムギ	51.3	31.9	10
	きたほなみ	40.6	29.3	10
訓子府町	チホクコムギ	35.0	33.5	10
	きたほなみ	26.0	25.2	10

予察ほにおける病原菌種別発生割合(%)

地点	長沼町				芽室町				訓子府町			
	品種名		品種名		品種名		品種名		品種名		品種名	
菌種	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
雪腐大粒菌核病	0	0	0	0	100	16	97	14	100	21	100	24
雪腐黒色小粒菌核病	0	7	0	4	0	24	0	19	0	45	0	40
雪腐褐色小粒菌核病	40	73	25	57	0	26	0	8	0	2	0	2
紅色雪腐病	60	11	75	29	0	34	3	59	0	33	0	34
褐色雪腐病	0	9	0	11	0	0	0	0	0	0	0	0

一般ほにおける発生状況(振興局別調査結果)

振興局	作付面積(ha)	発生面積率(%)		被害面積率(%)		発生ほの病原菌種別発生割合(%)					
		本年	平年	本年	平年	大粒	褐小	黒小	紅色	褐色	その他
空知	15,097	27.9	37.5	6.0	8.0	0	38.6	5.3	20.9	35.2	0
石狩	6,111	40.0	50.0	3.8	14.0	0	73.1	6.4	10.0	10.6	0
後志	1,116	16.8	52.8	0.3	2.5	0	59.5	13.6	26.1	0.8	0
胆振	1,286	0.7	10.9	0	0.5	0	2.0	11.5	86.5	0	0
檜山	650	10.8	20.9	0	0.4	0	55.4	19.1	25.4	0	0
上川	10,801	56.7	59.2	6.4	13.0	0	14.6	12.7	16.4	56.3	0
留萌	776	50.4	58.1	10.8	17.8	0	69.4	2.2	1.5	26.9	0
オホーツク	24,377	4.5	37.1	0.1	4.2	3.4	4.3	38.0	53.4	1.0	0
十勝	41,010	10.6	19.5	0.2	1.5	25.2	0.1	4.9	64.0	0	5.8
全道計	101,224	18.7	34.9	2.0	5.0	6.0	25.3	9.7	29.6	28.1	1.3

注) 大粒：雪腐大粒菌核病、黒小：雪腐黒色小粒菌核病、褐小：雪腐褐色小粒菌核病、
 紅色：紅色雪腐病、褐色：褐色雪腐病、その他：スッポヌケ症

2. 赤さび病 発生期 早 発生量 並

<5月17日付け注意報第2号>

予察ほにおける「きたほなみ」の初発日は長沼町および訓子府町では平年より早かった。発生量は各地点とも平年並であった。芽室町での発生は確認されていない。

予察ほにおける発生状況

地点	品種名	初発日		病斑面積率(%)*		平年数
		4月6半旬		4月6半旬		
		本年	平年	本年	平年	
長沼町	きたほなみ	4月7日	4月25日	0.01	0.02	10
芽室町	きたほなみ	未発生	5月11日	0	0.01	10
訓子府町	きたほなみ	4月29日	5月15日	0.01	0.00	10

注)*:全葉調査の平均値

3. うどんこ病 発生期 やや早 発生量 やや多

予察ほにおけるうどんこ病抵抗性“弱”品種「チホクコムギ」の初発日は、長沼町では平年より早く、訓子府町では平年よりやや早かった。発生量は長沼町では平年より多く、訓子府町では平年よりやや少なかった。芽室町での発生は確認されていない。主力品種「きたほなみ」において、長沼町で平年より早く初発を認めた。

予察ほにおける発生状況

地点	品種名	初発日		病斑面積率(%)*		平年数
		4月6半旬		4月6半旬		
		本年	平年	本年	平年	
長沼町	チホクコムギ	4月8日	4月29日	11.95	0.24	10
	きたほなみ	4月19日	5月7日	0.17	0.00	10
芽室町	チホクコムギ	未発生	4月29日	0	0.03	10
	きたほなみ	未発生	5月16日	0	0.01	10
訓子府町	チホクコムギ	4月29日	5月2日	0.01	0.21	10
	きたほなみ	未発生	5月7日	0	0.01	10

注)*:全葉調査の平均値

B. あぶらな科野菜

1. コナガ 発生期 早 発生量 やや多

フェロモントラップによる雄成虫の初誘殺日は、滝川市で平年よりやや早く、その他の地点では平年より早かった。誘殺数は、北斗市で平年より多く、長沼町、比布町、芽室町および滝川市では平年よりやや多く、訓子府町では平年並であった。

コナガのフェロモントラップによる誘殺数と初誘殺日

月・半旬	長沼町		比布町		北斗市		芽室町		訓子府町		滝川市	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
4月1半旬	3	-	0	-	15	1.0	0	-	-	-	0	-
2半旬	2	0	0	-	4	1.3	0	-	0	-	0	-
3半旬	1	0.3	3	-	6	3.5	2	0	1	0	0	-
4半旬	1	0.7	9	2.0	11	3.8	1	0.2	0	0.1	6	1.3
5半旬	0	0.7	2	6.6	6	5.4	3	1.1	0	0.2	0	1.0
6半旬	2	1.6	14	8.6	14	4.8	0	0.8	1	0.6	2	1.7
初誘殺日	4月2日	4月22日	4月12日	4月19日	3月25日	4月16日	4月12日	4月27日	4月12日	4月29日	4月19日	4月24日
平年数	10		5		10		10		10		6	

C. りんご

1. ハダニ類（リンゴハダニ） 越冬卵量 並

予察園の1短果枝当たり越冬卵数は、長沼町（無防除）で0卵（平年：0卵）、余市町（慣行防除）で0卵（平年：0卵）と平年並であった。

2. ハマキムシ類（ミダレカクモンハマキ） 発生期 早 越冬卵量 やや多

予察園の5年枝3本当たりの越冬卵塊密度は、長沼町（無防除）で0.9卵塊（平年：0.2卵塊）と平年より高かった。余市町A（慣行防除）では0卵塊（平年：0.006卵塊）、余市町B（慣行防除）では0卵塊（平年：0.06卵塊）で卵塊は認められなかった。越冬卵のふ化始は、長沼町では4月22日（平年：5月5日）と平年より早かった。